




北川 博道	古脊椎動物学	<p>① 経歴・職歴          自然の博物館 自然担当学芸員(H24～R1)          教育局市町村支援部文化資源課指定文化財担当 主任(R2～R4)          自然の博物館 環境担当主任学芸員(R5～R6)          自然の博物館 自然担当主任学芸員(R7～)</p> <p>② 過去の業務実績          H25 企画展 太古の海の恵み展          H26 特別展 恐竜時代～海と陸の支配者たち～          H27 企画展パレオパラドキシア 大野原標本発掘から40年          R1 特別展「知って！埼玉～化石でたどる2000万年～」R1          R6 川の博物館特別展「自然の“国宝”展」企画・調査・監修</p> <p>③ 研究業績等          H27 「埼玉県秩父市大滝の洞穴から産出したクマ化石」埼玉県立自然の博物館研究報告第9号          H28 古秩父湾 秩父の大地に眠る太古の海の物語 埼玉県立自然の博物館発行 国天然記念物解説書          H30 秩父地域産出Paleoparadoxia tabataiの骨端閉鎖状態の比較. 埼玉県立自然の博物館研究報告第13号          R6 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の産状と骨格</p> <p>④ メッセージ          マンモスやナウマンゾウといった化石ゾウを中心に、絶滅したほ乳類動物の研究を行っています。県内48年ぶりに誕生した国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」など、県内の天然記念物などを通して埼玉の自然を紹介します。</p> <p>⑤ その他          京都大学博士(理学)、趣味は化石採集に水泳、野球観戦、トレイルランニング</p>
きたがわ ひろみち	<p>特に大型ほ乳類化石</p> 	

小林 まさ代	鉱物学	① 職歴・経歴 自然の博物館 学芸員(自然担当)
こばやし まさよ		② 過去の業務実績
	特に蛇紋岩	H24 川の博物館特別展「今だって氷河時代～埼玉からさぐる気候変動～」企画担当 H26 川の博物館特別展「荒川流域の鉱山と産業～地下資源の利用と人々の暮らし～」企画担当 H29 自然の博物館特別展「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」副担当 H30 自然の博物館企画展「水晶～鉱物界へのトビラ～」主担当 R4 自然の博物館特別展「The蛇紋岩」主担当 R6 自然の博物館特別展「秩父鉱山の面影」主担当 ③ 研究業績等 H23 関東山地の三波川帯,釜伏山に産出する 超苦鉄質岩の岩石記載(自然の博物館研究報告第6号) H26 埼玉県 鉱山一覽(自然の博物館研究報告第9号) ④ メッセージ 道ばたで石を1個拾えば、それで15分は語れます。石についていろいろ知りたい方は、博物館へぜひどうぞ。

<p>山岡 勇太 やまおか ゆうた</p>	<p>古生物学(軟体動物化石)</p>	<p>①経歴・職歴 令和2年度より、埼玉県立自然の博物館 自然担当学芸員として勤務 令和7年度より、埼玉県立自然の博物館 環境担当学芸員として勤務</p> <p>②過去の業務実績 企画した展示R3企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」R4「奥秩父の自然」R5「埼玉シェルワールド ― 貝からひも解く埼玉の自然―」R6「長瀬自然遊覧 自然を知れば、長瀬はもっと楽しい。」</p> <p>③研究業績等 H24 高知県の鮮新統穴内層産二枚貝<math>\textit{Chousenhamaguri}</math>の酸素同位体比(高知大学学術研究報告) H25 高知県安田町に分布する鮮新統穴内層最下部の亜熱帯的な外浜・陸棚混合貝化石群(高知大学学術研究報告) H27 現生ザルガイ科二枚貝 <i>Fulvia mutica</i> (トリガイ)の祖先種, 鮮新統穴内層産 <i>Fulvia</i> sp.の殻形態と生息環境(化石) H28 Rate and Pattern of Shell Growth of <i>Glycymeris fulgurata</i> and <i>Glycymeris vestita</i> (Bivalvia: Glycymerididae) in Tosa Bay as Inferred from Oxygen Isotope Analysis (VENUS) R6 高知県室戸市岩戸に分布する新第三系の微化石層序と貝化石群集: 四国における掛川動物群の最古記録とその古生物地理学的意義(地質学雑誌) R7 Molluscan Fossils from the Lower Pleistocene Sayama Formation of the Kazusa Group, Western Margin of the Kanto Plain, Central Japan(埼玉県立自然の博物館研究報告)</p> <p>④メッセージ 令和2年度に着任しました。二枚貝や巻貝など、貝の化石をテーマに研究を行っています。海なし県の埼玉にも、過去には海が広がっていました。埼玉県の地層や、そこから見つかる化石について分かりやすく解説します。</p> <p>⑤その他 趣味: 旅行、登山など</p>
	<p>軟体動物化石(特に二枚貝)</p>	